

健康保険料率据え置き、健保財政の健全化と保健事業の拡充へ

2月21日に開催された第128回組合会において、平成26年度収入支出予算および保健事業計画が承認されましたので、概要をお知らせします。

当健保組合の財政は、平成21年度から4年連続の赤字でしたが、平成23年度からの段階的な健康保険料率アップや景気回復による賃金改善などによって、平成25年度の経常収支予測では、ようやく黒字になる見込みです。

平成26年度の収入においても、この状況は続く見込んでおり、支出は、相変わらず国へ納める高齢者医療や介護保険の支援金・納付金などが負担(保険料収入の41%)となり、医療費を合わせると保険料収入の82%を占めています。しかしながら、平成26年度の経常収支予算では、健康保険料率を上げることなく約260百万の黒字になる見込みです。

また、縮小傾向であった保健事業につきましては、今年度より被扶養者(家族)向け事業などの拡充を計っていきます。

なお、平成26年度の健康保険料率は、協会けんぽ(全国平均)に比べ、一般保険料率、介護保険料率ともに低い水準を保持しています。

●平成26年度 収入支出予算・保健事業の概要

【平成26年度の収入支出予算】

■保険料率 (前年と同率)

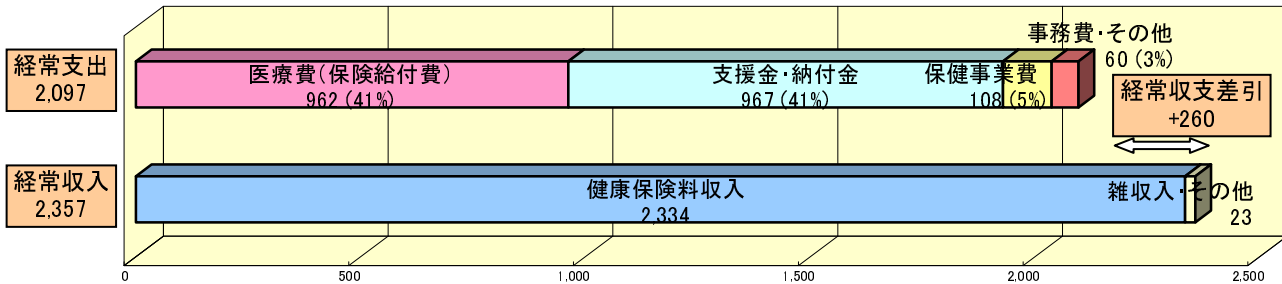
健康保険料率	9.60%
介護保険料率	1.30%

<参考> 平成26年度協会けんぽの保険料率  
健康保険料率 10.00% (全国平均)  
介護保険料率 1.72% (前年度1.55%)

※健康保険料率・介護保険料率は前年度からの据え置き

■健康保険の収支予算

(単位:百万円)



<経常収入> (百万円)

科目	金額
健康保険料収入	2,334
雑収入・その他	23
収入合計	2,357

<経常支出> (百万円)

科目	金額	保険料収入に占める割合
医療費(保険給付費)	962	41%
支援金・納付金	967	41%
保健事業費	108	5%
事務費・その他	60	3%
支出合計	2,097	

<経常収支> (百万円)

経常収支差引額	260
---------	-----

■介護保険の収支予算

<収入> (百万円)

科目	金額
介護保険料収入	228
雑収入・その他	40
収入合計	268

<支出> (百万円)

科目	金額	保険料収入に占める割合
介護納付金	211	93%
雑支出・その他	57	25%
支出合計	268	

## 【平成26年度の主な保健事業】

項目	内容
特定健康診査等	40歳～74歳の被扶養者(家族)男性及び任意継続(本人・家族)の方に対し、特定健診のご案内及び費用の一部負担(対象の方に個別通知) 【自己負担額:保険証掲示で本人3割負担】
電話健康相談 ★委託先変更★	24時間、フリーダイヤルで健康相談 えらべる倶楽部の「無料電話相談サービス」利用、海外ヘルスサポートは従来通り
啓発・育児冊子 ★冊子拡充★	被保険者(本人)又は被扶養者(家族)で出産された方を対象に、育児冊子を配布(誕生号に加え、月刊誌を1年間配布、海外の方は誕生号のみ)
医療費のお知らせ	医療費に対するコスト意識をはかるため、医療費実績を被保険者(本人)に通知(9月と翌年3月の年2回)
ジェネリック差額通知 ★新規実施★	後発医薬品の利用促進のため、「ジェネリック差額通知」を個人毎に封書を分けて通知(9月と翌年3月の年2回)
生活習慣・健康セミナー	セルフケア・運動・食に関するセミナーなど、各事業所にて実施(「こころと体の健康づくり委員会」等にて企画)
本人健診 ※会社の定期健診時オプション検診で実施	⇒胃がん検診 35歳以上希望者対象(平成26年度はレントゲン検査) ⇒大腸がん検診 35歳以上希望者対象(便潜血反応検査) ⇒前立腺がん検診 50歳以上男性対象者全員(血液検査)
家族健診 ※レディース健診で実施 ★新規実施★	30歳～74歳の被扶養者(家族)女性(任意継続の方は除く)に対し、「レディース健診」を実施(40歳以上は特定健診項目含む)(対象の方に個別通知) 【自己負担額:基本1,000円(現地徴収)】(オプション検診費等は別途設定)
人間ドックの補助 ※年度内1人1回限り 利用可能 ★補助拡充★	⇒人間ドック補助 【補助金 上限20,000円】 被保険者(本人)(節目人間ドック補助対象者は除く)及び被扶養者(家族) ⇒節目人間ドック補助 【補助金 上限40,000円】 ★新規★ 年度内(4月～翌年3月末)で満45,50,55,60歳になる被保険者(本人)(役員除く)
各種検診の補助 ※年度内1人1回限り 利用可能 ★補助拡充★	⇒乳がん検診補助 【補助金 4,000円】 ⇒子宮がん検診補助 【補助金 2,000円】 女性の被保険者(本人)、被扶養者(家族)(20歳代配偶者のみ)及び任意継続(本人・家族)の方対象 ★対象者条件変更★  (注)レディース健診対象者は、同健診内の乳がん・子宮がんオプション検診にて受診願います。(補助金額相当の差額で自己負担額の設定あり)それ以外の単独検診を受けても補助金は支給されません。  ⇒インフルエンザ予防接種補助 【補助金 2,000円】 ★新規★ 被保険者(本人)及び被扶養者(家族)対象 (基本一家族単位でまとめて申請、支給月は1月or3月に一括支給)
健康管理補助	血液さらさらチェック, 簡易姿勢測定, 禁煙チャレンジ★新規★, その他補助(各事業所にて年1回、被保険者(本人)から希望者を募って実施)
家庭用常備薬配布	一家族当たり 2,000円相当の補助(海外送付不可)(8月頃配布予定)(詳細等は別途お知らせ)
健康づくりキャンペーン ★企画拡充★	春(4～6月)、秋(9～11月)年2回実施(全事業所/被保険者(本人)及び配偶者)期間は3ヶ月に拡大、参加者推進のため新企画を提案、詳細等は別途お知らせ
10分間エクササイズ	各事業所の職場毎に年1回実施

※ この表は保健事業の一部です。他にも健康づくりのための事業に取り組んでいますので、詳しくは「ダイフク健保ホームページ」をご覧ください。

[健康づくりのための事業] <http://www.daifuku-kenpo.or.jp/hoken/index.html>

※ダイフク健康保険組合のホームページでは、健保に関する情報や、「健保からのお知らせ」「健康支援トピックス」などを掲載しています。  
<http://www.daifuku-kenpo.or.jp/index.html>